

# 社内報 2 月号

株式会社NITTOH

## 売上 100 億円をめざして

40 期も残すところ 2 ヶ月となりました。社員全員の頑張りで、40 期はここまでトータルとしては計画通りに推移しています。今までは、何とか 40 年目を良い形で終わらせようという思いで仕事に取り組んできたと思いますが、ここで止まることなく、パッと次のスタートを切るところが、当社のいいところではないかと思えます。1 月より、来期の計画策定にとりかかりましたが、次の目標は、50 周年ではなく、それよりもかなり早い時期のグループ全体売上 100 億円の達成です。時期については、まだ明言できませんが、今まで以上の伸び率で事業展開をしていきましょう。

## 株価

自民党政権に変わり、株価上昇、円安へと動き出し、当社の株価も年末から 1 月に入り上昇、490 円まで上がりました。業績については、四半期ごとに開示しているとおりで、飛躍的に改善されたわけでもなく、まさにアベノミクス効果というしかありません。思い返せば、リーマンショックの時にも、業績や財務内容に大きな変化はありませんでしたが、当社の株価は大きく下がりました。ただ、純資産から考えると、多くの他の日本の会社と同様に、当社の株価はまだ割安なのかもしれません。株価が上がることは、日本全体にとっても、また当社にとっても悪いことではないので、大いに歓迎というところでしょうか。

## 人口の動向

人口の推計結果が発表されました。日本の人口は、前年の同月比で 20 万人 (0.16%) 減の 1 億 2,740 万人です。20 万人といえば、地方の市が一つなくなる規模なので、相当な減です。年齢別だと 65 歳以上は 95 万人増ですが、64 歳以下はそれ以上の減で、全体として減になっています。4 人に 1 人が 65 歳以上で、すごいスピードで高齢化が進んでいます。愛知県の人口は、増加しており、名古屋市、大府市、日進市、長久手市などの増加が大きいです。名古屋市内では、緑区の人口増が最大です。岐阜県は全体では減ですが、大垣市、瑞穂市、美濃加茂市など、名古屋圏のベッドタウンは増えています。人口増は、マンションなどの建設が主な要因ですが、これらの地域は 30 歳代の子育て世代の受け皿になっており、活気のある地域になっているようです。

## 北陸営業所

デアール金沢店の看板が取り付けられ、北陸営業所が新しく生まれ変わりました。



## ビルワークで ISO 取得に向けた審査

ビルワークで、ISO9000 シリーズの取得に向け、専門の審査会社の審査を受けました。品質マネジメントシステムのマニュアルを作成し、そのとおり運用できているかについて、会議資料、書類、品質目標の達成状況、現場スタッフへの浸透などの審査を受けました。あとは 2 月の最終審査を受けるのみとなり、順調に行けば、3 月中に取得になる見込みです。

## 広島ビル看板取付完了

広島市内のビルの看板取り付けを行い無事完了しました。



## コラム「60 歳以後も活躍へ」

日経新聞の記事にあったので、読まれた方も多いと思いますが、50 代以降の心得として、的を得ていたので紹介します。若い人にも参考になることと思えます。

日本人口の高齢化に伴い、高年齢者雇用安定法が改正され、基本的に 65 歳までの継続雇用が変わっていきます。ですから、今後

は 65 歳まで働くのが当たり前になってきます。年金支給の問題や独身世帯の増加や晩婚化の影響もあり、生活のために働かなくてはならない時代になっているとも言えます。そのための心構えですが、まず、アドバイスとして「会社にしがみつこうとしてもダメ。社内に残るにしても自分の仕事は自分でつくるくらいの気概を持った方がよい」ということです。未永く組織で活躍するには継続的なスキルアップは欠かせません。一般的に社歴を重ねるとマネジメント業務を担当するなど現場の一線から遠のき、そのままでは知識やスキルは日々衰えてしまいます。管理職になっても、自己啓発に励み、資格取得に挑戦したり、最新情報の収集に努めるべきです。現在は部下のマネジメントを担っていても、いずれ後進にポストを譲り、再びプレーヤーに戻り、戦力として貢献できるように備えておかないといけません。過去の知識や経験はいつまでも通用しません。必要とされる人材であるためには 50 代でも自分を磨き続けなくてはなりません。あるとき、ラインから外れたら、大切なけじめとして、後輩や若手にも敬語を使い、名前を呼ぶときも「君」付けや呼び捨てではなく、「さん」付けにしたという例がありました。年上社員はただでさえ扱いにくいのだから、いつまでも過去の上下関係やプライドを持っていては働く場所を失ってしまう。社内に残るにしても社外に活躍の場を探すにしても、これまでの職業人人生を振り返り自分の強みをみつけることです。

## 60 歳以降も働き続けるための心得

- ◎強みを見極める。
- ◎市場価値を高める。(自己啓発、人脈形成)
- ◎体力を維持する。
- ◎プライドを捨てる。(年上は扱いづらい。意識改革が不可欠)
- ◎住宅ローンは早く返済する。(収入の制約を減らし、やりたいことを選択できるように)

## 鈴木金太郎さんご逝去

闘病の甲斐なく、1 月 24 日にご逝去されました。享年 37 歳、あまりにも早い旅立ちでした。若い時に体を壊し、当社に入社された時はすでに透析をされていたのですが、その後腎臓を移植され一時は元気に仕事もしていました。その後、骨髄移植をすることになり、ドナーを待ちながらも前向きにとっても熱心に頑張っていました。ドナーが見つかり移植手術をされ、回復を期待していたのですが、がんの転移が見つかり入退院を繰り返す生活となり、12 月末に入院されてからは病状

も思わしくなく帰らぬ人となりました。入院中のときも一時退院されては、会社に出てきて頑張って仕事をし、病院のベットからもお客様のことを心配して電話をしてきました。元気なときは、一番遅くまで会社に残り、お客様のことを考え見積り作成やプラン作成をしていました。病気で免疫が落ちている時にも、周りの社員が心配して早く帰るように言わないと、ず

っと仕事をしてしまうところがありました。とにかく、仕事が好きで、熱心で、お客様や協力会社の方からも「金ちゃん」「金ちゃん」ととても愛されていました。仕事熱心で、常に一生懸命で、前向きで、厳しい病氣と闘いながらも、周りの人に心配をかけないように明るく振る舞い、希望を失わず、最後まで必死に生きようとしていました。私たちは、天から金ちゃ

んが見守ってくれていることを忘れずに、金ちゃんが笑顔でいられるように、頑張らないといけません。金ちゃんは、熱心で正義感が強く、厳しい一面ももっていましたから、サボっていると怒られてしまいます。

生前のご苦労と会社への貢献に対し、深い敬意と感謝を捧げます。安らかなる眠りにつかれんことを。

## 営業所だより

### 阪神営業所の紹介

今月は阪神営業所の紹介をさせていただきます。当営業所はNITTOHで最も西にある営業所で、兵庫県宝塚市に事務所を構えております。宝塚といえば皆さんもご存じの宝塚歌劇団が有名ですが、近すぎて行ったことはありません。一度は話のネタに覗いてみたいなと思っています。また、阪神タイガースの甲子園球場は高校球児の夢の舞台としても有名です。私も何度か高校野球の観戦に行きましたが、闘志と闘志のぶつかり合いは凄まじいものがあり、全力で戦う姿、溢れる汗は勇ましく魅了されました。それ以外にも大阪の食い倒れ・神戸の街並みと観光スポットとしてはとても良い所だと思います。皆さんも一度は遊びに来てみませんか？

ご当地紹介はこれぐらいにして、次は当営業所の紹介をさせていただきます。当営業所は法人営業が主な営業所で、その内訳は売上の半分を防水部門が占め、残りの4分の1ずつを防虫、建築が占める3部門でなる営業所です。また、所員も協力店も20～40代と、とても若い力が集結した営業所です。最近では小富士係長が京滋営業所へ転勤し、入社歴も若い者ばかりで若干経験値に難はありますが、スピードとフットワークでカバーしていこうと思っています。“確実に業務を遂行し、着実に業績を向上させ、充実した一年にする”をスロガンに所員一丸となって日々進化してまいります。



宝塚大劇場



甲子園球場

## ★Happy News★

### 資格取得おめでとうございます

★阪神(営) 東井さん  
防水施工技能士2級

### お誕生おめでとうございます

★東京営業所 矢内主任  
女兒誕生

## ちょっと一言

### 「パニック」

名古屋営業所 主任  
長谷川 豊



皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？そろそろ正月気分も抜けた頃でしょうか。

私事で恐縮ですが、家内が亡くなり3回忌を迎えることとなりました。月日が過ぎるのは本当に早いものです。最愛の人の死に対しては、流石に冷静ではいられないことを痛感しました。人生の半分を一緒過ごした人が突然居なくなるのは、心にポツカリ大きな穴が空いた感じです。

人は突然の出来事に遭遇すると何も出来なくなる、いわゆるpanicに陥ります。仕事上でもpanicは誰にでも起こりうることです。このpanicに素早く対処するためには、まずは冷静な判断力が不可欠だと思います。その時正しい判断が出来なければ、より一層panicが続いてしまうはずで、クレームがクレームを生んでしまうように、1つの判断ミスで人生が変わってしまうこともあり得ることでしょう。

私は強い意志を保つため、浴槽の中での瞑想を30分間しています。そこで1日の疲れと精神を癒やすことでバランスをキープしています。週2回程は水での瞑想もしています。精神の維持を心がけ、panicに立ち向かう精神力が身に付けば、さほどの困難でも人は乗り越えていくことができるのではないかと思います。

また食糧難や治安の悪化等の危機的状況下で一生懸命生きている人々がいる反面、私達日本人は危機に対して疎くなっているようにも感じます。危機突破力も備えていかなければならないと思います。

自分自身panicに陥ることがないように、また遭遇した場合でも危機を冷静に打開していけるよう、今年1年しっかりと頑張っていきたいと思っています。

